

まどかっ子の学力(全国学力・学習状況調査より)

4月に実施された全国学力・学習状況調査の結果が発表されました。この調査は、毎年全国の小学校6年生と中学校3年生を対象に行われるものです。調査は、教科(国語、算数、理科)と質問調査(学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等)です。

(数字は平均正答率)

	国語	算数	理科
円山小学校	74%	67%	65%
福井県平均	69%	60%	61%
全国平均	66.8%	58%	57%

福井県は、国語、算数、理科ともに全国でも上位の成績となっています。本校6年生は、その県平均を上回る大変素晴らしい結果が出ています。

円山小学校では、これらの内容を分析し、どのような力を求められているのかを考えました。

ここでは、全国平均や県平均よりも正答率が低かったものと、全国平均や県平均よりも正答率は高かったが課題があるものを掲載します。【今回は国語科についてお知らせします。】

【国語】

本校の特徴(○良好●課題)

○漢字を文中で正しく使うことができる。

○時間の経過による言葉の変化や世代によることばのちがいに気付くことができる。

●条件に合わせて文章を書く。

手ぬぐいのいろいろな良さをまとめたものがあり、その中に「手ぬぐいはいろいろな物を包むことができる」とあります。この一文をいくつかの条件に合わせてさらに詳しく説明する問題。

(円山小60.3%、県63.4%、全国61.3%)

<条件>

- ① 「手ぬぐいはいろいろな物を包むことができる」の文を書き直し詳しくすること。
- ② 右の【調べたこと】から言葉や文を取り上げて書くこと。
- ③ 六十字以上、百字以内にまとめて書くこと。

【調べたこと】

(本を読んで分かったこと)	(使ってみて分かったこと)
○ブックカバー ・何回か折るだけで、すぐに完成する。 ・本の大きさに合わせて包むことができる。	○ブックカバー ・よごれがつくのを防ぐことができてよかった。 ・落としたときに、本がきずつかなかった。
○ペットボトルカバー ・ペットボトルを包んで持ち運ぶことができる。	○ペットボトルカバー ・水たぎが荷物につかなくてよかった。 ・温かい飲み物が冷めにくかった。

<今後取り入れていくこと>

- ・目的や意図に応じて、事実と感想や意見とを区別して書くなどして、書き表し方を工夫することができるよう指導をする。
- ・書くことへの抵抗感を軽減するために、児童の「書きたい」と思う課題で書く活動を多く取り入れる。テーマや構成を考える段階で対話する場面を設けるなど、協働で取り組む活動を取り入れる。

